

あなたのLOMの素晴らしい事業を  
全国に発信しましょう!!



In Odawara・Hakone

# AWARDS JAPAN 2010

**対象事業期間 2009年8月1日～2010年7月31日**

申請する事業又はプロジェクトは対象期間中に完了したものを前提とします。  
継続的な事業又はプロジェクトの場合、活動の主要な部分が対象の期間中に行われていることを前提とします。

**エントリー受付期間：2010年6月8日（火）～8月8日（日）まで**

下記アドレスの右記バナーより2003年～2009年度の  
褒賞エントリー事業をご覧頂けます。  
<http://www.10jaycee.com/2010/medal/>



褒賞エントリー事業  
検索閲覧システム  
2003～2009



## 褒賞の種類

①**最優秀賞「グランプリ」** 優秀賞・会頭特別賞の中から選ばれます。

②**優 秀 賞「規定部門賞」**

- |                           |         |              |         |
|---------------------------|---------|--------------|---------|
| ①「地域のたから」発掘部門 <b>〈新設〉</b> | ②地域開発部門 | ③地方自治・行政関係部門 | ④国際開発部門 |
| ⑤会員開発部門                   | ⑥教育関係部門 | ⑦経済開発部門      | ⑧環境開発部門 |
| ⑨福祉関係部門                   | ⑩広報部門   |              |         |

③**会頭特別賞** (この賞は全てのエントリーの中から選ばれます。)

④**「OMOIYARI」特別賞〈新設〉** (この賞は全てのエントリーの中から選ばれます。)

※「OMOIYARI」の定義：相手の立場に自分を置き換えて、様々な価値観等をお互い受け入れて信頼する心を育む事業。

※①⑤⑨は日本青年会議所のオリジナルです。

※部門毎に慎重に審査しますが場合によっては該当無しとさせて頂く事もあります。



## 申請方法

①**申請主体**：各地青年会議所(規定毎に申請)

②**申請の内容と種類**：Web申請

申請方法が難しく面倒だと思いませんか?**実はすごく簡単なのです!**

褒賞委員会のホームページ上から所定のフォームに沿って入力するだけで申請ができます。

そしてフォームに入力後、自動的にデジタルアーカイブに登録され、いつでも閲覧できるようになります。

全国の素晴らしい事業を申請していただくことで、その情報を共有し、今後のJC運動の発展につながると確信します。

**まずは、委員会ホームページにアクセスしてください!!**

**<http://www.10jaycee.com/2010/medal/>**

③**申請期間**：2010年6月8日～8月8日まで

④**対象事業期間**：2009年8月1日～2010年7月31日までに主要な部分が終了している事業



### 褒賞大綱

社団法人日本青年会議所の褒賞制度は、各地会員会議所が展開している事業に対し栄誉を讃えるとともに、その素晴らしい運動を全国に広めることにより、JC運動の高揚と地域発展の一助になることを目的に1960年に創設された事業です。全国のLOMが展開している運動を発信することで、今後の方向性や運動展開を模索する機会となり、新たな気づきや学びを与えて地域をさらに輝かせます。

関わるすべての人に自信と誇りを与え、自らが地域のデザインをしっかりと描き切り、日本再生に貢献しうる、輝く地域を創造することで、世界に輝く真の民主主義国家の創造につながります。

本年度は、LOMが取り組んだ地域の特性を最大限に活かした事業に着目し、輝く地域に向けたJC運動を称賛し、全国のJAYCEEに発信することで、互いに高め合い、「地域のたから」が日本再生に貢献しうる、輝く地域の創造の一助となる事を目指します。

#### ■褒賞制度の目的

1. 全国のLOMすべてを対象に、褒賞を受賞することのみを目的とせず、本事業を通して各LOMで展開されている事業を全国に発信し、様々なJC運動の情報を増やすことで、未知なる運動展開の規範となるとともに、互いに高め合い、称賛させることで、市民意識変革運動に繋げる機会をより多く提供して行くことを目的とします。
2. JC運動に貢献したLOMに対し、栄誉を讃えるとともに、その素晴らしい運動を広く情報発信することにより、今後の運動展開の参考とし、更なるJC運動の発展に資する機会とします。
3. 申請したLOMにおいては、申請した事業の精査・検証を通して、その事業の当初の目的を振り返り、時代との整合性や地域での評価を勘案し、今後の方向性や運動展開を模索する絶好の機会とします。